

村山造酢の千鳥酢

石野味噌の白味噌

丸常の練物

ゆば庄の京ゆば

富美家のおうどん

半兵衛麩の生麩

フレスコで京ブランド揃えましょ



すぐき漬

九条ねぎ

海老芋

堀川ごぼう

金時にんじん

みず菜

番生菜

聖護院だいこん

くわい

フレスコ Fresco

五条店

下京区五条通高倉西入ル

TEL.075-354-3131

10:00~22:00



フレスコ本部代表 TEL. 075-257-3551



フラワーデザイナー

好田 ゆみ

K o u d a Y u m i

KYOTIAN I.D.

キョーティアン アイディ

「ゆみフローラルスタジオ」主宰。IFA（国際フラワーアレンジメント協会）相談役・本部講師、NFD（日本フラワーデザイナーズ協会）講師。華道池坊で師範を修得後、フラワーデザインを学ぶ。現在、京都を中心に講師を育成中。フラワーデザインとは…一定のデザイン原則、基礎技法をふまえながらも、時代や生活環境に合わせて花の美しさ、花に託する心を表現する「花の創作活動」。単に器に飾るだけでなく、服飾のアクセサリから空間ディスプレイまでその用途は幅広い

時代によって心のままに 創りだす花のカタチ



好田さんといいいさんによるレッスンはKBSカルチャースクールにて4月より開講。第2・4金曜日の13:00~14:30で6ヶ月12回



半永久的にフレッシュな姿をとどめるプリザーブド・フラワーはブライダルブーケとしても人気が高い



「生徒さんには、こちらから積極的に声を掛けるようにしています。中には控えめな方もおられるので」と好田さん

Information **プリザーブドフラワー&フラワーアレンジセラピースクール**
●問い合わせ先
KBSカルチャースクール TEL.075-441-4161

「フラワーデザインは、お花の創作活動。カタチに一定の法則はありますが、生け花のようにある形式をそのまま伝承するスタイルとは異なりますね。ガラスや廃材のペットボトルなど身の回りのモノを自由に使って心の趣きままに表現すればいいんです」とフラワーデザイナーの好田ゆみさん。フラワーデザイン界のトレンド発信地であるドイツ、フランスの第一人者に学び、IFA（国際フラワーアレンジメント協会）の相談役として、次世代のフラワーデザイナーを育てるために関西各地を日々奔走する彼女。「教え子が講師となり、また新たな生徒さんにフラワーデザインの楽しさを伝えていく。一人でも多くの人のおかげで、花が潤いをもたらしてくれること。それが私の願いです」。

好田さんがフラワーデザインに興味を持ち始めたのは、彼女自身の結婚式でのこと。「髪を生花で飾ってもらった時、とてもうれしかった。高校生の頃から生け花には親しんでいたのですが、同じ花でも身にまとえるデザインがあるんだと改めて気付いたんです」。床の間に飾ることを前提とした生け花とは異なり、卓花はもちろん、コサージュからショーウィンドウなどの空間ディスプレイまでと、生活の様々な場面に溶け込んだ花のカタチがフラワーデザインにはある。未知数の花の可能性に挑戦してみたくなったのだ。

季節の流れや洋服のスタイルと同じように、フラワーデザインの世界にも常に流行の風が吹く。次々開発される花材やデザインをアグレッシブに取り入れて、変化に富んだ作品作りは怠らない。そんな彼女が、今月から新たに開講するスクールが今、話題を呼んでいる。

共にIFAの講師を務めるいいい佳子さんとのコラボレートで実現した「プリザーブドフラワー&フラワーアレンジセラピースクール」。プリザーブドフラワーとは、4年前にイギリスで開発された「枯れない花」のこと。特殊な加工で生花の瑞々しい質感を半永久的に封じ込めた魔法のような花材である。この珍しい花を用いたアレンジメントに加え、好田さんのもとで学んだいいいさんが担当するのがフラワーアレンジセラピー。花のもつ自然色から効果を得るカラーセラピーとアレンジメントを融合した、新しいスタイルだ。

「花を見ているだけで、新しい着想が次々に湧いてくるんです。美しさを追求することに、これで終わりって終止符はないので。誰もが夢見た「枯れない花」で今度はどんな可能性を見せてくれるのか、大いに楽しみだ」。